

(資料3)

NGHNS 論文

1994

- 1) M. Hashimoto and K. Tokuda
Computer Simulation Study of Intracranial Hemodynamics and ICP Pulse Wave Form
Intracranial Pressure IX Edited by H. Nagai, K. Kamiya, and S. Ishii.
Springer-Verlag Tokyo Berlin
Heidelberg New York London Paris Hong Kong Barcelona Budapest PP480-481
- 2) 橋本正明、得田和彦
computer simulation による頭蓋内循環動態と頭蓋内圧波形との関係
Progress in Research on ICP 1994 pp7-12

1996

- 2) 橋本正明、南出尚人、得田和彦
出血源不明のクモ膜下出血における急性期直達手術。
The Mt Fuji Workshop on CVD Vol.13: 27-32, 1996
- 4) 橋本正明、南出尚人、深谷賢司、得田和彦：高齢者破裂脳動脈瘤の急性期手術の成績
－ Less invasive treatment を目指して －
Geriatric Neurosurgery Vol.8: 61-66, 1996
- 5) 橋本正明、南出尚人、深谷賢司
Ca 拮抗剤および輸血による破裂脳動脈瘤術後管理とその成績
－ Hypervolemia and Hypertension 療法の反省から －
脳血管攣縮 Vol.11:140-147, 1996

1997

- 6) 橋本正明
Patlak Plot 法による脳血流定量値の読影上の問題点とその臨床的有用性
第6回西日本セラテック研究会講演集 pp1-8
- 7) 橋本正明
総説：頭蓋内圧の測定とその今日的意義
早石修、吉岡了、山下純宏（監修）、山嶋哲盛、木多真也（編集）
髄膜をめぐる諸問題：Dynamic aspects of Meninges
SciMed Neuroscience Series 1. SciMed Publications 1997, pp59-73.
- 8) 南出尚人、橋本正明、泉祥子
開頭術中の超音波診断の経験
公立能登総合病院医療雑誌 Vol.8 :1-5, 1997
- 9) 南出尚人、橋本正明、泉祥子
脳膿瘍治療の経験
公立能登総合病院医療雑誌 Vol.8 :6-10, 1997
- 10) M Hashimoto, H Minamide, H Mukai and S Izumi
Selection of shunt system in the management of patients with hydrocephalus
－ Different pressure valve vs programmable valve－
Current Tr Hyd(Tokyo) 7:35-39, 1997

1998

- 11) 橋本正明、向井裕修、南出尚人、泉祥子
水頭症に対する適切な shunt system の検討および
特発性水頭症に対する Programmable shunt valve による治療
：特発性水頭症に対する診断基準と治療指針
厚生省特定疾患、難治性水頭症調査研究分科会
平成9年度研究報告書 PP56-60, March 1998
- 12) 橋本正明、向井裕修、南出尚人、泉祥子
特発性水頭症の典型例および非典型例の報告
：Programmable shunt valve による治療
：特発性水頭症に対する診断基準と治療指針
厚生省特定疾患、難治性水頭症調査研究分科会
平成9年度研究報告書 PP151-152, March 1998
- 13) 特発性正常圧水頭症とはどのような病気ですか？
厚生省難治性水頭症調査研究班
平成10年6月30日、第1版、第1刷、にゅうろん社
- 14) 特発性正常圧水頭症の病態と治療指針
厚生省難治性水頭症調査研究班
平成10年8月5日、第1版、第1刷、にゅうろん社
- 15) 特発性正常圧水頭症の診断基準ならびに治療指針
厚生省難治性水頭症調査研究班
平成10年11月25日、第1版、第1刷、にゅうろん社
- 16) 橋本正明、向井裕修、南出尚人、泉祥子
症候性脳血管攣縮の評価および治療方針の決定における SPECT (Patlak Plot 法) の有用性
脳血管攣縮 vol. 13, pp334-339, 1998
- 17) 向井裕修、岡田尚巳、橋本正明
crescendo TIAから脳梗塞に移行した穿通枝領域梗塞の2例
公立能登総合病院医療雑誌 vol9, 7-10, 1998
- 18) 橋本正明
介護保険と医師の役割
：現状分析を踏まえた介護保険法の導入による現場における対応
公立能登総合病院医療雑誌 vol.9, 47-51, 1998

1999

- 19) 橋本正明、向井裕修、岡田尚巳
特発性水頭症に対する現状での認識：新重症度分類の評価を含めて
厚生省特定疾患、難治性水頭症調査研究分科会
平成10年度研究報告書 pp13-16, 1999
- 20) 橋本正明、向井裕修、岡田尚巳
総説：脳 SPECT 画像の評価における臨床的留意点
：加齢変化、病態生理および血管反応性を含めて
監修：石川春律、吉岡 了、山下純宏 編集：山嶋哲盛
脳のイメージング：Recent Advances in Brain Imaging
SciMed Neuroscience Series 3. SciMed Publications 1999, pp91-100.
- 21) 岡田尚巳、橋本正明、向井裕修

左前頭葉髄膜腫症例の治療経過

監修：西村恒彦 編集：平井俊策、端 和夫、遠藤啓吾、松田博史、柴崎 尚、奥直彦
治療につながる脳血流 SPECT 定量 メヂカルレビュー社 1999, pp74-75.

22) 散文：橋本正明

私の体力復活奮戦記

日本脳神経外科学中部地方会ニューズレター 1999 August No. 3

23) 向井裕修、瀬戸 陽、橋本正明、横地英博、白崎弘恵、北村

心原性脳塞栓症に対する局所血栓溶解療法の有用性

第18回 Mt Fuji Workshop on CVD 講演集 pp50-55, 1999

24) 岡田尚巳

脳腫瘍に対する遺伝子治療の現状と展望

公立能登総合病院医療雑誌 vol.10. pp4-14, 1999

2000

25) 橋本正明、向井裕修、岡田尚巳、本多 拓、

宮崎吉春、井上 寿、塩崎 潤、滝本 政盛 (中央放射線部)

血行再建術の適応決定における Patlak 法を用いた定量 SPECT の役割と問題点

第15回 Brain Function Imaging Conference 記録集

pp53-58, 2000 日本メジフィジクス

26) 橋本正明、向井裕修、岡田尚巳、本多 拓

急性期脳血管障害における SPECT の役割

第4回神奈川 SPECT 研究会講演集 CDR 版 2000

27) 橋本正明、美馬達夫、中山禎司、竹内東太郎、桑名

Shunt Related Problems in Idiopathic Adult Hydrocephalus

The Shunt Workshop 記録集 CDR 版 Codman. a Johnson&Johnson company. 2000

28) Yamashita A, Honda H, Hashimoto M and Arita S

Autonomic balance before and after VP shunt to Hydrocephalus

— Assessment using linear analysis of heart rate variability —

Proceedings of the 9th Annual meeting of the Society for treatment of Coma,
9:33-40, 2000

2001

29) 橋本正明

[Paradigm Shift \(extensive version\)](#)

公立能登総合病院医療雑誌 vol.10. pp

30) 橋本正明、向井裕修、瀬戸 陽、濱口 毅、横地英博、岸沢 進、山下 朗

特発性水頭症術後の長期予後における検討

第2回正常圧水頭症研究会記録集 pp65-67, 2001.

31) 山下 朗、本多 拓、橋本正明、有田清三郎、木村進一、小林 聡

水頭症手術前後における自律神経機能の変化について

— 心拍変動解析による検討 —

Progress in Research on Brain edema and ICP 2001. pp79-84.

32) 橋本正明、向井裕修、多田吾行、本多 拓

くも膜下出血 72 時間以内の早期手術症例の治療効果

— 特に H&K Gr-III, 症候性脳血管攣縮の治療に関して —

脳血管攣縮 脳卒中の外科 29(suppl):154-161, 2001

2002

- 33) 橋本正明、向井裕修、多田吾行、山下 朗、斎藤建夫、斎藤学
頭蓋内圧測定における圧脈波解析システムの開発とその展望
: B wave の解析とその成因に関する一考察
Progress in Research on Brain Edema and ICP. pp:59-67, 2002
- 34) 橋本正明、向井裕修、多田吾行
圧可変式バルブの現状と将来展望
Codman Hakim programmable valve (CHPV) にて: 有効事例、MRI に関して、pitfall、
— 開発展望—特発性水頭症の圧調節に関する検討も含めて —
第3回正常圧水頭症研究会報告集 pp43-46, 2002.
- 35) 橋本正明、向井裕修、多田吾行、宮崎吉春、瀧本政盛、塩崎潤、井上寿
総説: CEREBRAL HEMODYNAMIC PERFUSION IN SPECT
99mTc 製剤を用いた脳循環予備能の評価法 ~現状と今後の問題~
脳卒中の外科 30:225-232, 2002
- 36) Y Miyazaki, M Hashimoto, S Kinuya, H Inoue, J Shiozaki, M Takimoto, K Yoshioka,
K Nakajima, and J Taki. **Noto General Hospital, Kanazawa University, and Daiichi
Radioisotope laboratories Radiology, Neurosurgery, Biotracer medicine**
**A new method for measuring dynamic change of tracer distribution using dynamic
SPECT with a slip-ring rotational gamma camera**
NMC, 2002, 23 1115-1121
- 37) Hashimoto M, Mukai H, Seto A, Shirasaki H, Yokochi H, Susumu K.
Evaluation of cerebral blood flow distribution pattern and clinical significance
in idiopathic adult
hydrocephalus, Current tr hyd (Tokyo) 12, 9-12, 2002
- 38) 向井裕修 多田吾行 橋本正明
急性期 STA-MCA bypass が奏功した内頸動脈閉塞症の1例
公立能登総合病院医療雑誌 Vol.13 : 22-28, 2002

2003

- 39) 橋本正明、向井裕修、塚田利幸
特発性正常圧水頭症の診断から治療まで6ヶ月以上を要した症例の検討
第4回日本正常圧水頭症研究会講演集 pp43-45, Vol. 4
- 40) 橋本正明、向井裕修、塚田利幸
シャントに著効を示した特発性正常圧水頭症の画像所見の特徴
Geriatric Neurosurgery Vol.16, p69-73

2004

- 41) 橋本正明、向井裕修、塚田利幸
SiphonGuard を付属したコッドマンハキム圧可変式バルブの使用経験
脳神経外科速報 vol.14(9) 2004, 923-926.
- 42) 特発性正常圧水頭症診療ガイドライン作成委員会
特発性正常圧水頭症診療ガイドライン 日本正常圧水頭症研究会、
メディカルレビュー社 2004年5月1日版
- 43) SINPHONI protocol 委員会
特発性正常圧水頭症における症状改善のための臨床研究

－診断法及びシャント術の効果・安全性に関して－

Study of idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus On Neurological Improvement (BRI_NPH03-01) SINPHONI protocol 2004.0930 第1版 pp1-33.

- 44) 橋本正明、向井裕修、塚田利幸
特発性正常圧水頭症における CHPV with SiphonGuard の使用経験
第5回日本正常圧水頭症研究会抄録集 Vol.5 pp98-101, 2004
- 45) 後藤由和、橋本正明、後藤由美子、稲葉英夫
頭蓋内出血症例における心拍変動解析：ローレンツプロット非線形解析と重症度との関係
ICUとCCU 28(12)：1003-1009, 2004
- 46) 塚田利幸、橋本正明、向井裕修、井上寿、塩崎潤、滝本政盛
当院における SRS の紹介と治療成績の報告
公立能登総合病院医療雑誌 (15) 44-50, 2004

2005

- 47) 橋本正明、石川正恒、竹内東太郎、三宅裕治、平井 収、
森 悦朗、数井裕光、小山 弘、永井洋士、福島雅典
特発性正常圧水頭症の診断およびシャント術の効果、安全性に関する統一基準事業について
第6回日本正常圧水頭症研究会論文集 Vol.6. pp14-17, 2005
- 48) 橋本正明、向井裕修、塚田利幸
CHPV with SiphonGuardTM による特発性正常圧水頭症患者の
術後圧設定状況とその安全性からの検討
第6回日本正常圧水頭症研究会研究会論文集 Vol.6. pp90-92, 2005
- 49) 橋本正明
特発性正常圧水頭症の前向き臨床試験における脳血流統計解析 3D-SSP の役割
第20回 Brain Function Imaging Conference 記録集 pp25-28, 2005
- 50) 橋本正明、向井裕修、塚田利幸、宮崎吉春、塩崎 潤、瀧本正盛、井上 寿
外科領域における脳血流 Dynamic SPECT の有用性
核医学画像診断 Imaging Diagnosis in Nuclear Medicine Vol.20. No.1. pp9-13, 2005
- 51) 橋本正明
特発性正常圧水頭症の予後
神経内科 Vol.62, No4. 353-358, 2005
- 52) 橋本正明
「特集2：正常圧水頭症」シャント手術の合併症対策
「脳21」 Vol.8, No.2. 83-87, 2005
- 53) M Hashimoto
Study to Evaluate Efficacy of Shunt Operation for Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus
2005.0913 ClinicalTrials.gov (<http://clinicaltrials.gov/ct>)
A service of the National Institutes of health. Developed by the national Library of Medicine
- 54) 橋本正明
手術で治す “高齢者の認知症”
平成17年10月27日 AllAbout 先端医療
<http://allabout.co.jp/health/advancedmedicine/>

- 55) 後藤由和、橋本正明、向井裕修、塚田利幸、後藤由美子、稲葉英夫
ローレンツプロット心拍変動解析からみた急性期脳神経疾患の予後予測
Progress in Research on Brain Edema and ICP (2005), p37-42

2006

- 56) 橋本正明
ガイドライン診療と SINPHONI より見えてきた高齢者 iNPH の諸問題
研究課題名 (課題番号・H17-難治-17)
正常圧水頭症と関連疾患の病因・病態と治療に関する研究
平成17年度 総括・分担研究報告書 p61-63
- 57) 橋本正明
International movements における SINPHONI の役割
研究課題名 (課題番号・H17-難治-17)
正常圧水頭症と関連疾患の病因・病態と治療に関する研究
平成17年度 総括・分担研究報告書 p88-92
- 58) 橋本正明、石川正恒、竹内東太郎、三宅裕治、平井 収、
森 悦朗、数井裕光、小山 弘、永井洋士、福島雅典
ガイドライン診療と SINPHONI より見えてきた高齢者 iNPH の諸問題と今後の展望
第7回日本正常圧水頭症研究会論文集 p70-72, Vol.7, 2006
- 59) 橋本正明、向井裕修、塚田利幸
成人水頭症の CHPV を用いた shunt 治療における合併症の検討
第7回日本正常圧水頭症研究会論文集 p86-87, Vol.7, 2006
- 60) 橋本正明
特発性正常圧水頭症の治療
Clinical Neuroscience pp1263-1267, vol.24. No.11, 2006